区分・種別	重要文化財(建造物)		
名　　称	おおやまづみじんじゃはいでん 大山祇神社拝殿　１棟		
所　在　地	今治市大三島町宮浦		
所　有　者	大山祇神社	管 理 団 体	
指定年月日	昭和28年3月31日		
解　　説	本殿（国指定重要文化財）の前面にあるこの拝殿は、桁行７間、梁間４間、一重の切妻造である。屋根は檜皮葺(ひわだぶき)で柱はすべて円柱となっている。正面と側面の三方に縁が付き、高欄取回しとなり、四面に階段がつけられている。内部は天井を張らず、巨大な木割を用いて豪壮な感じを持たせている。なお、建物正面には１間の唐破風向拝(からはふこうはい)がついている。 拝殿は本殿と同じ応永年間（1394～1428年）の再建と推定され、昭和30（1955）年の解体修理によってその当時の様式に復元された。		